

議会運営委員会行政視察報告書

- 1 視察日程 令和4年4月15日（金）

- 2 視察先及び項目
東京都立川市 タブレット端末の導入と活用について

- 3 参加者 委員長 水上洋志
副委員長 片山かおる
沖浦あつし
白井亨
五十嵐京子
小林正樹
渡辺大三
議長 鈴木成夫
副議長 遠藤百合子
随 行 北村高（議会事務局長）
小林大治（議会事務局次長）
山浦勉（議会事務局）

- 4 視察概要 別紙1のとおり

- 5 視察収支報告 別紙2のとおり

(別紙1)

| 視 察 概 要 | |
|---|--------------|
| 【視察日程】 令和4年4月15日 | 【視察先】 東京都立川市 |
| 【視察項目】 タブレット端末の導入と活用について | |
| 【視察目的】 タブレット端末を導入し活用している先進事例を調査し、今後のタブレット導入、グループウェアの導入等の検討に役立てるため。 | |
| 【取組の概要】 1 システムの概要について インターネット上のサーバーであるクラウドに掲載されたデータをタブレット端末で閲覧するもの。機種、サーバー等 iPad Air、SideBooks 2 掲載する文書等及び運用方法 (1) 掲載する文書は、会議資料（議案、委員会報告資料等、決算特別委員会・予算特別委員会に係る請求資料、議会各種会議に係る資料）、議員への通知文等、議員への情報提供、各種行政計画、議会関係規定などである。 (2) 運用方法は、議会事務局が管理者権限で、議会事務局及び行政の各担当課が資料をアップロードしている。閲覧は、基本的に議員はタブレット端末、行政側は庁内で使用するパソコンで行っている。 3 導入の経過 若手議員から導入の要望が出され、検討を開始した。平成25年度に先進自治体を視察し、事業者によるシステム説明会を経て、議会運営委員会協議会で導入の方向性を確認し、平成26年度からの導入となった。 4 導入による効果について 議会と行政の資料がタブレット端末で閲覧できるようになり、地域において議員活動を行う際に、紙資料を持ち歩くことなく資料閲覧が可能となった。また、各種情報提供に関しての迅速化、効率化が図られた。さらに、段階的にペーパーレス化を検討し紙資料を減らすことにつながっている。 5 今後の方針・課題 平成27年第1回定例会より、一部の紙資料の削減を実施し、更に紙資料の削減を進めることとしている。課題として、タブレット端末のメール機能の活用の拡大やクラウド容量の不足、フォルダ階層の複雑化・深層化を挙げている。 | |
| 【所感、課題等】 委員1 立川市議会のタブレット導入はかねてから聞いていたところではあるが、議会主導で始 | |



めたことは視察での説明で知り、参考になった。また、6～7年続けてきて、紙の減少についても大きな効果を出していると思った。新しい道具であり、使い慣れてきて次第に効果が出てくるものだろうと思う。ただ、実際にタブレットを見て、必要な書類を探すのも結構面倒な印象を持ち、やはり慣れる時間が必要なのではと思った。

委員 2

タブレット端末の使用で資料等の紙が8割程の削減と、議会事務局を経由しない議員宛て資料の電子的提供などの導入効果がある一方で、傍聴者用資料は紙の方が対応しやすいなど、ゼロにできない事情も理解した。導入の前提として、全議員が「紙を併用しない同意」や「保存期限の同意」をする必要がある。また、議会内連絡ツールや一般質問等への機能活用策やそれに伴う導入コスト、通信費支出についても調査や協議が必要と考える。

委員 3

タブレット端末の導入の効果としては、端末が一つあれば、いつでもどこでも資料が閲覧できるため、議会内外で十分活用できる点が重要である。言うまでもなく議会活動での活用とともに、市民との懇談や問い合わせに関して即答できることがわかった。また、議員のみならず、一定程度のペーパーレス化により職員の業務効率の向上や印刷コストの軽減にも資する。公文書管理についての課題も協議しながら導入に向けての議論が期待される。

委員 4

事務局やメーカーの大きな後押しがあり、具体的な検討開始から僅か1年で導入に至っている。紙資料の削減は未だ課題が残るとのことだったが、8割が削減できたというのは効果と言える。全く使っていないという方もいらして作業量が増えている部分もあると言われていた。導入に向けてはそのようなルール決めも重要となる。また、端末等のスペックも上がっているため、小金井市議会で検討する際には、他の利用方法も検討ができるとよい。

委員 5

タブレット端末に議会資料とともに行政資料が入っていることは、議会活動において資料を持ち歩くことや探す手間などがなく、また、市民への説明などでの活用にも有効であると感じた。ペーパーレスが一定進んでいることや議員間の情報共有など導入する効果があると思う。議会事務局の負担や行政との調整が今後の課題と考える。「百聞は一見にしかず」の視察だった。

委員 6

小金井市の庁舎建設の課題はコスト削減であり、床面積削減はそれに直結する。書類削減は床面積削減に寄与するものであり、立川市議会を参考に、タブレット端末によるクラウド情報共有システムを速やかに導入すべきである。タブレット端末があれば、文字が小さい資料も拡大表示できるし、フルカラーの資料も自由に使用できる。あらゆる行政資料、議会資料を携帯して持ち歩くことができるため、市民からの問い合わせにも即応できる。

委員 7

立川市議会では平成26年にタブレットを導入。行政には貸与せず、議会だけだが、今年の市議会改選後は行政の導入や機種を新しくすることを検討中。HPでは資料を公開していないので市民は見るができない。傍聴者は紙資料で閲覧。クラウドにアップした資料を削除できないので、タブレットのクラウド容量を増やした。データ保存に関する公文書管理規程についてと、市民への情報公開をどのように進めていくのかが課題と考える。

(別紙2)

収 支 報 告

1 予 算 8, 870円

〈内 訳 (交通費)〉 委員旅費 @734円×10人=7, 340円

職員旅費 @398円×2人+@734円×1人=1, 530円

2 執 行 額 6, 270円

〈内 訳 (交通費)〉 委員旅費 @734円×8人=5, 872円

職員旅費 @398円×1人=398円

3 差 引 残 2, 600円

※ 委員1人が欠席したほか、議長車を使用したため。